



# SiEN

春号



3月に行われた生活訓練センターさうのバスハイク。成田ゆめ牧場に行ってきました。

「感謝を伝えるということ」

地域活動支援センターなぎ 施設長 高野さおり  
今年、当法人は15周年を迎えることとなりました。立ち上げからかわってくれたすべての方、そして、利用者の皆様やそのご家族のおかげだと思っております。この場をかりて心より感謝申し上げます。

また、理事長をはじめとした多くの方々の思いがたくさん詰まっている場所だと改めて実感しています。この15年という月日だけでも震災、感染症、そして目まぐるしく変わる時代の中で、なぎがどのような場所であるべきか、思いを巡らせております。

人はどんな状況の時でも、どんな環境でも、誰と出会い、言葉を交わし、関係を築くかで自分の人生の色々なことに左右されていくのだなと実感しています。そして、関わる中で、感謝を伝える言葉「ありがとう」がこんなに大事な言葉なのだ、出会った人達に教えていただいたように思います。そう考えると、幼少期に「ごめんなさい」や「ありがとう」を真剣に教えてくれた人に感謝ですね。今、伝える相手が目の前にいなくとも自分の動いている鼓動にありがとうと伝えることもできます。そうすると、きつと伝えただけ幸せが返ってくるはずです。それがきつと、法人のサブテーマ「共に生きる」ということなのだろうと思います。そして「なぎ」が存在することなのだろうと思います。生前、父が残した言葉に、今が最高に幸せと思いません。ごはんが食べて幸せ！皆が居て幸せ！笑って笑えて幸せ！ありがとうは伝えなければ伝わらない！時々ふと思いでいしながら日々精進していこうと思います。

これからも皆様どうぞよろしくお願いいたします。